

一般社団法人日本マスターズ水泳協会

## 2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

### 1. 事業の状況

#### (1) 競技規則の制定

公益財団法人日本水泳連盟と合致させるよう軽微な修正をおこなった。

#### (2) 普及促進

- ① 競技役員講習会を東京・愛知・大阪で実施した。申込者数は以下の通り。
  - ・東京 2月18日 56名
  - ・愛知 2月12日 28名
  - ・大阪 3月3日 43名
- ② 指導者・マスターズスイマーの為のクリニック  
6月24日、東京アクアティクスセンター会議室にて実施した。申込者数は以下の通り。
  - ・会場受講 40名 オンデマンド受講28名
- ③ マスターズスペシャルスイムクリニック  
11月24日、千葉県国際総合水泳場にて日本マスターズ水泳スプリント選手権前日に原英晃氏、森田智己氏を講師とするクリニックを開催した。  
申込者数は37名であった。
- ④ ジャンボウポイント  
公認記録と公認大会への参加実績をもとにポイントを集計しランキングを作成。ジャンボウポイントランキングとして公表することで参加意欲を高める仕組みを開始。2024年開催の記録から運用。

#### (3) 競技会の開催

- ① 2023年度日本マスターズ水泳短水路大会  
4月1日より6月4日までの期間、全国26会場で実施した。参加者数合計18,470名であった。
- ② 第38回日本マスターズ水泳選手権大会OWS競技(ジャパンマスターズ2023OWS)  
9月10日に常滑りんくうビーチにて一般社団法人愛知水泳連盟主催「とこなめりんくうオープン」と共同開催した。  
エントリー数は58名(全体231名)であった。



(8) 機関誌および刊行物

年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行した。

(9) 栄章・懲罰

① スポーツグランプリ

独立行政法人日本スポーツ協会 スポーツグランプリに堀居愛子氏(札幌アスレチッククラブ)を(公財)日本水泳連盟を通じ推薦し受賞した。

② 功労者表彰

笠原一也氏・高木忠行氏・中嶋功氏の3名を表彰した。

(10) 国内外の水泳関係団体との連携協力

① 世界水泳連盟(World Aquatics)へ年間トップ 10 ランキングを集計し連携した。

② 公益財団法人日本水泳連盟への加盟を継続した。

③ 公益財団法人日本水泳連盟、一般社団法人日本スイミングクラブ協会および日本障がい者水泳協会と共同主催による「水泳の日2023」をひろしんビッグウェーブ(広島市総合屋内プール:広島県)にて8月13日に実施した。

(11) 登録(2023年)

チーム登録 3,250チーム

個人登録 31,626名であった。

(12) 情報システム

競技会支援アプリ開発について株式会社VISH との取り組みを開始した。

以上